

二〇〇五年一月

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報
(五)

奈良文化財研究所



95



121



26



34



1



128



147



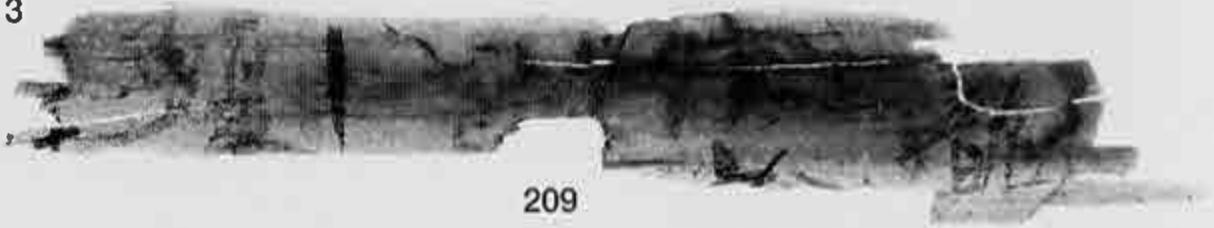
99



113



191



209

(1 : 1)



120



12



118



109



124



101



135



85



84



133



106



83



87



16



17
(1:1)



19



333



394



406



7



543



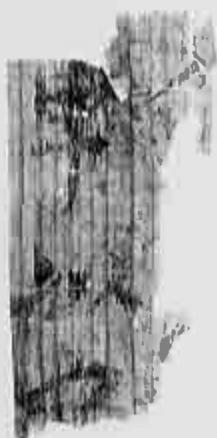
387



393



424



533



342



548

(1 : 1)



330



416



444



27



452



541



445



392



355



419



47



386



378



395



341



347

(1 : 1)

この概報には、さきに刊行した『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十八)』(二〇〇四年一月)以下、前号と略す)以後、二〇〇四年度に飛鳥藤原宮跡発掘調査部の行なった発掘調査で出土した木簡のうち、主要なものを収録する。木簡が出土したのは、①飛鳥藤原第一三四次(石神遺跡第一七次)調査である。

また、二〇〇三年度以前に実施した調査のうち、②飛鳥藤原第一五五次(藤原京左京七条一坊西南坪、二〇〇一年度)、③同第一二八次(藤原宮朝堂院地区、二〇〇三年度)の各調査で出土した木簡も収録する。②③は前号までで取り上げているが、本号では未報告分の一部について追加報告する。ただし、②③は木簡の点数が非常に多いため、さらに次号以降でも取り上げる予定である。このほか、前号に収録した木簡のうち、訂正を要するものについても報告する。

一、木簡の出土地点と状況

第一三四次調査(石神遺跡第一七次調査)

5AMD地区 二〇〇四年四月～一〇月

一九八一年度より実施している石神遺跡の継続調査の一七回目である。調査地は石神遺跡の主体となる施設群の北外側にあたる場所である。木簡の多数出土した第一五・一六次調査区の東側に一部重

複するようになり、南北二箇所の調査区を設けた(第一五五次調査区の東側を南区、第一六次調査区の東側を北区と呼ぶ)。発掘総面積は約六五四m²である。以下、石神遺跡の既往の調査所見にもとづく時期区分に基本的に従って、検出した遺構の概略を示す。

〔A期以前〕七世紀前半以前。

尾根の先端部となる礫集中SX四一七七をはさみ、その北側に沼沢地SX四一七五、南側に沼沢地SX四一七六が広がっていた時期である。SX四一七五・四一七六は、西隣の第一五・一六次調査区の全面に広がる沼沢地SX四〇五〇に対応するものである。堆積土は粘土と砂の互層であり、流水による自然堆積とみられ、旧流路である可能性が高まった。岸の傾斜は急勾配をもち、水は基本的に西へ北西の方向に流れ、飛鳥川に合流するとみられる。

なお、SX四一七五・四一七六の埋め立て時期は、第一五・一六次調査では七世紀後半のB期としたが、整地土中の土器の分析を通じて、七世紀中頃のA期であった可能性がでてきた。

〔A期〕七世紀前半～中頃。

石神遺跡が最も整備される時期であり、大きく三期に細分される。A3期には、長大な建物で囲まれた東西二つの長方形区画の内外に、大規模な掘立柱建物群や石敷井戸・石組溝・方形池などが整然と配置され、『日本書紀』斉明紀にみられる公的饗宴施設に該当する可能性が高い。だが、これらに施設群の北外側にあたる本調査区では、

東西溝SD四一六四と土坑SK四一七一がある。SD四一六四は南区の南端に位置する幅約三〇cm・深さ約一〇cmの暗渠で、円礫が詰められていた。SK四一七一は南区東南部に位置する不整形土坑で、多量の土器や加工痕のある木片、種子、炭化物を含む。

〔B期〕七世紀後半。

石神遺跡の本体では、饗宴施設としての性格を一変させ、塀で画した多数の区画がつけられ、掘立柱建物や倉庫などが建てられる時期である。次のC期の遺構とあわせて、官衙として利用された可能性が考えられている。これらの施設群の北外側にあたる第一五・一六次調査区では、逆L字大溝SD四〇八九・四〇九〇などが形成された。その東隣である本調査区では、南北塀SA四一六〇・南北溝SD四一六二・四一六三が設けられている。SA四一六〇は、北区東北部で確認した柱穴五基からなる掘立柱列である。柱間は約三mで、柱の抜取痕跡を明瞭に残す。周囲に対応する柱穴がないことから、掘立柱塀と考えられる。SD四一六二は、北区東北部で検出した幅約一・二m・深さ一五cmの南北素掘溝。SD四一六三は、幅約一m・深さ一〇cmの南北素掘溝で、SD四一六二よりは新しい。

〔C期〕七世紀末。

石神遺跡の本体では、掘立柱建物や倉庫・井戸などが点在する一辺約七〇mの方形区画が設けられ、その東側には屈曲する二条の南北溝をとまなう道路が形成された時期である。西側の南北溝SD一

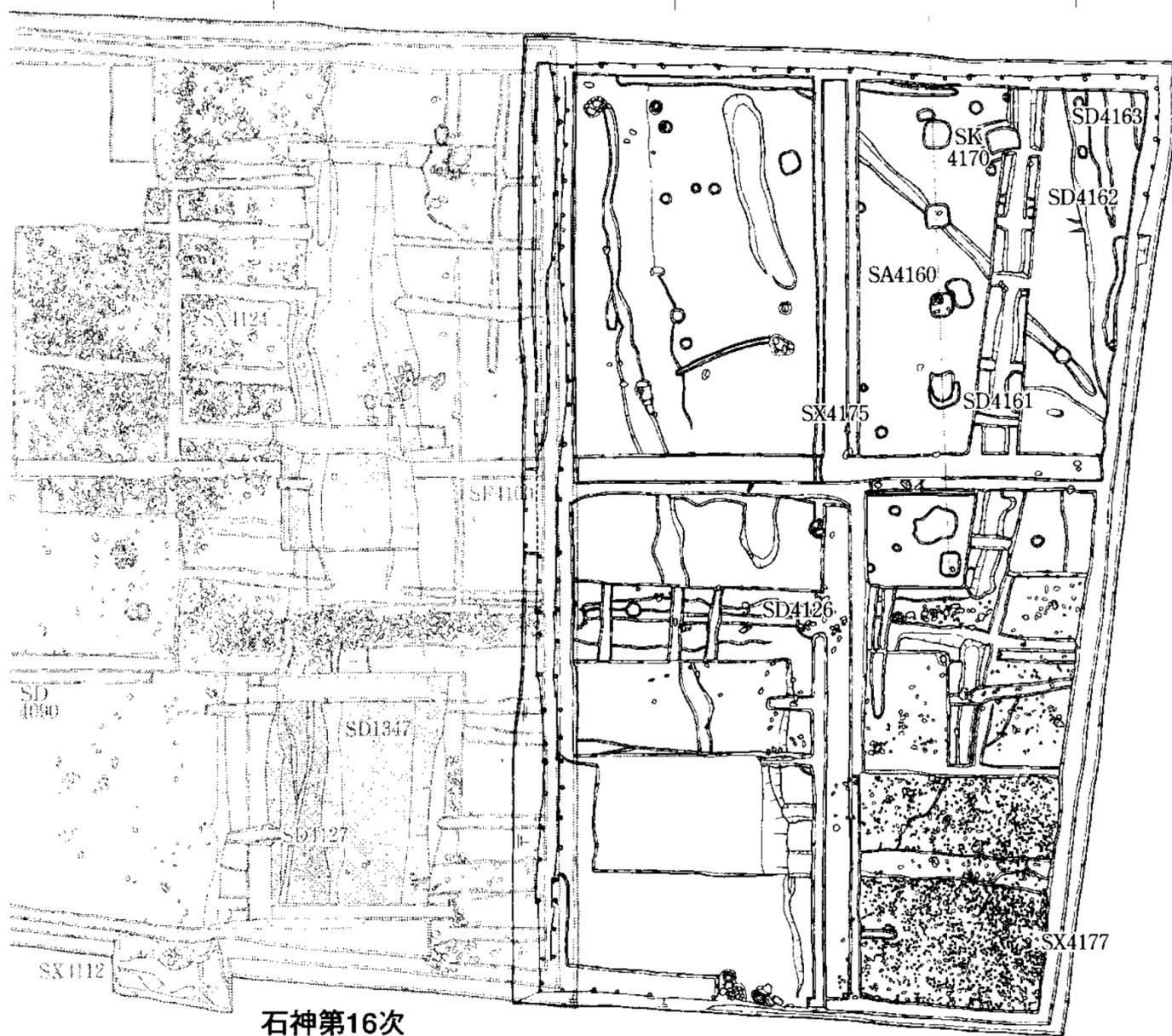
三四七は北に向かって溝の規模を大きくし、第一五・一六次調査区へと続く。一方、対応する東側の溝SD一四七六は本調査区内に想定されたが、溝の規模が小さかったためか、明瞭な形で検出することはできなかった。

本調査区でC期に関わる遺構としては、南北溝SD四一六一・土坑SK四一七〇がある。SD四一六一は、北区東北部で確認した幅約六〇cm・深さ約二〇cmの南北素掘溝である。SK四一七〇は、北区北東部にある不整形長方形の土坑で、堆積中に炭化材を含む。時期的にSD四一六一より新しく、C期以降の土器も含む。

〔C期以降〕奈良時代以降とみられる東西溝SD四一二六が設けられた時期である。SD四一二六は北区南部で確認した幅約一・二・一・五mの東西素掘溝で、第一六次調査で確認した溝の延長部分にあたる。堆積土中に多量の石を含み、水田耕作時の暗渠とみられる。なお、B・C期に属する遺構は、年代の根拠となる遺物に乏しく、重複関係や整地土による相対的な遺構編成にもとづいた時期区分で、正確な時期は今後の課題としたい。

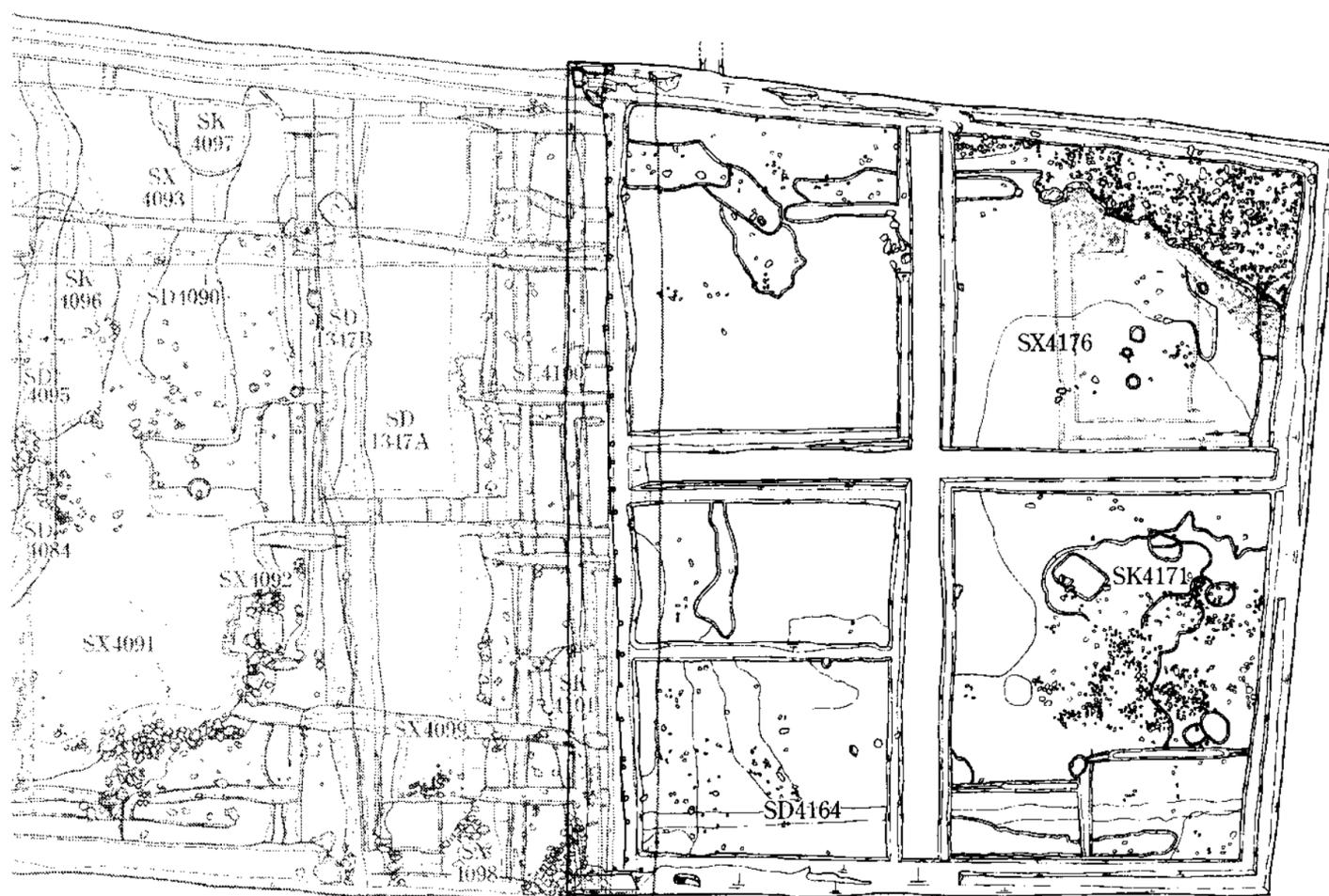
〔木簡〕木簡は、第一五次調査区埋戻土から一点、第一六次調査区埋戻土から二点、合計三点出土したが、いずれも遺構に直接関係するものではない。墨書土器などの文字史料も出土しなかった。

以上、発掘調査の詳細は『奈良文化財研究所紀要二〇〇五』（二〇〇五年）を参照されたい。



北区

石神第16次



南区

石神第15次



第134次調査遺構図 1:250

二、凡例

(一) 木簡は内容により、文書、付札、その他の順に排列するのを原則とし、便宜的に通し番号を付した。

(二) 釈文の漢字は概ね現行常用漢字に改めたが、「寶」「廣」「肆」「縣」「富」などは、この字体を用いた。なお「部」の異体字「ア」と「マ」の違いは相対的なものである。

(三) 釈文に加えた符号は次のとおりである。

- ・ 木簡の表裏に文字がある場合、その区別を示す。
- 木簡の上端もしくは下端に孔が穿たれていることを示す。
- ∴ 同一木簡と推定されるが直接接続せず、中間の一字以上が不明なことを示す。
- 欠損文字のうち字数の確認できるもの。
- 欠損文字のうち字数が推定できるもの。
- 欠損文字のうち字数が数えられないもの。
- 記載内容から、上または下に一字以上の文字を推定したものの。

┌ 異筆、追筆。

■ 抹消により判読が困難なもの。

ゝゝ 抹消部分の字画が明らかでない場合に限り、原字の左傍に付した。

(×) 文字の上に重書して原字を訂正している場合、訂正箇所
の左傍に・を付し、原字を上のを要領で右傍に示した。
┌ 合点。

┌ 校訂註のうち本文に置き換わるべき文字を含むもの。

() 右以外の校訂註、および説明註。

カ 編者が加えた註で、疑問が残るもの。

マ、 文字に疑問はないが、意味が通じ難いもの。

(四) 釈文下の右行上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はmm)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。長さ・幅は木簡の文字の方向による。

(五) 釈文下の右行中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

011型式 長方形の材(方頭・圭頭などもこれに含める)のもの。

015型式 長方形の材の側面に孔を穿ったもの。

019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は011・015・032・041・051型式のいずれかと推定される。

021型式 小型矩形のもの。

022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みを入れたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。

- 032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れたもの。
- 033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れ、他端を尖らせたもの。
- 039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は031・032・033・043型式のいずれかと推定される。
- 041型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状に作ったもの。
- 043型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にし、左右に切り込みをもつもの。
- 049型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にするが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。
- 051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。
- 059型式 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は033・051型式のいずれかと推定される。
- 061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。()内に製品名を註記した。
- 065型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。
- 081型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。
- 091型式 削屑。

- (一)内の番号は二次的整形の場合に推定できる原型の型式。
- (六)釈文下の右行下段に出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。Zは地区不明を示す。複数の地区から出土した破片が接続したものは地区名を併記した。
- (七)釈文の出土地点下に付した「*」印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。例えば「*2」は「図版二」に対応する。
- (八)釈文下の左行に、木簡の原形を保持しない部分の形状に関する注記などを施した。その際、木簡の「上端」「下端」「左辺」「右辺」を「上」「下」「左」「右」と略記した。
- (九)地名表記を持つ木簡の一部について、『和名類聚抄』にもとづいて地名を推定した。推定地名は説明註として釈文右行に記した。なお、地名推定に際しては、池邊彌『和名類聚抄郡郷里驛名考證』(吉川弘文館、一九八一年)などを参照した。
- 木簡の釈読は飛鳥藤原宮跡発掘調査部の市大樹・竹本晃・竹内亮(当時、本調査部員。現奈良女子大学)が行ない、編集に際しては阿部健太郎・池尾直洋・桑原佳子・嶋原久尚・額田政男・堀内千嘉の各氏の協力を得た。写真撮影には井上直夫があたり、現像・焼付には岡田愛氏が協力した。図版作成には稲田登志子氏の助力を得た。本書の編集は市大樹・竹本晃が担当した。

三、 积文

第一一五次調査(5AWH地区)

9 [宮門力] 091 HI16

第一三四次調査(5AMD地区)

池状遺構SG五〇一

10 宮門 091 HI16

第一二二次(石神遺跡第一五次)調査
埋戻土

2 [中力]
 務 091 HI16

11 宮 [門力] 091 HI16

3 [衛門力]
 091 HI16

12 被給 [門力] 091 HI16 *2

1 [以力]
 上人同野上人
(99)・26・5 031 ZZ *1
上折レ。

4 [殿力]
 091 HI16

13 門 [十力] 091 HI16

5 犬甘門 091 HI16

14 宮 091 HI16

6 [マ]
 宮 門力 091 HI16

15 宮 091 HI16

7 宮門 091 HI16

16 上番 [佐伯力]
 091 HI16 *2

8 宮門 091 HI16

17 夜百卅三 091 HI16 *2

26	□□□ 逃七□ 立丁□	091 HI16 *1	35	太寶	091 HI16	44	十七日	091 HI16
25	五十五	091 HI16	34	太寶元年十一月	091 HI16 *1	43	□□□ 〔十一月廿五日〕	091 HI16
24	□百〔日力〕	091 HI16	33	留	091 HI16	42	□八〔力〕 月	091 HI16
23	□百□	091 HI16	32	□参	091 HI16	41	□六〔力〕 月	091 HI16
22	百廿二	091 HI16	31	□病	091 HI16	40	年	091 HI16
21	百廿九	091 HI16	30	□病	091 HI16	39	年	091 HI16
20	□宿	091 HI16	29	病石上□	091 HI16	38	□年□	091 HI16
19	夕	091 HI16	28	廡	091 HI16	37	□寶〔力〕	091 HI16
18	夕百	091 HI16	27	廡无□	091 HI16	36	大□寶〔力〕	091 HI16

53	52	51	50	49	48	47	46	45
□ _買 力	出□ _桑 力	進□	斗魚進□	□ _奉 力	奉	奉□	□出奉	□ _奉 人□ _定 代□ _里 力
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
62	61	60	59	58	57	56	55	54
□ _馬 一□ _力	□ _塩 四□	麦	小衣□	□ _純 二□ _力	□ _重 書□ _純	合□	□ _分 紙□ _力	□ _受 人□□□
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
71	70	69	68	67	66	65	64	63
□人	□人□	六人□	十二人	□ _七 人□ _力	□人等	□隻高	□ _両 二□ _力	□ _馬 力
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16

81	三	091	HI16	90	□ □ _{原郡} □ _力	091	HI16	99	□ _{進少初位上} □	091	HI16 *1
80	四	091	HJ16	89	原 _郡 □ _力	091	HI16	98	□ _肆 □ _力	091	HJ16
79	□ _六	091	HJ16	88	□ _荒 □ _玉 □ _郡 <small>(遠江国龜玉郡)</small>	091	HI16	97	□ _肆 □ _力	091	HJ16
78	□ _七	091	HI16	87	原郡下 _秦 □ _力 <small>(武藏国幡羅郡下秦郷)</small>	091	HJ16 *2	96	進 _廣 □ _力	091	HJ16
77	十 □	091	HI16	86	□ _原 □ _評 □ _力	091	HJ16	95	務從七位下五百木了宿祢東人	091	HJ16 *1
76	十七	091	HI16	85	吉備人日□	091	HI16 *2	94	□ _務 □ _正 □ _力	091	HI16
75	□ _三 □	091	HI16	84	□ _无 □ _{耶志人} □ _力	091	HI16 *2	93	直正 _五 □ _力	091	HJ16
74	□ _五 □	091	HI16	83	无耶志国□□	091	HI16 *2	92	里	091	HJ16
73	□ _廿 □	091	HJ16	82	三	091	HJ16	91	□ _郡 □	091	HI16
72	百 □	091	HI16								

108	107	106	105	104	103	102	101	100
□ □佐 □力	□ 佐伯	大伴小山	廣	□直 □力	□正	□位 □	无位忍海	□无 冠力
091 HI16	091 HI16	091 HI16 *2	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *2	091 HI16
117	116	115	114	113	112	111	110	109
建□	建ア □君力	建マ君安	犬甘	犬甘 □ア力	犬甘連□	海犬甘	縣	□縣 犬甘連力
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *1	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *2
125	124	123	122	121	120	119	118	
□石上 □ア力	他田□ ア□□	物ア	□物ア	物マ得末呂	□笠間 □造力	大鹿□ 首力万呂	□山部連 □	
091 HI16	091 HI16 *2	091 HI16	091 HI16	□ □ 091 HI16 *1	091 HI16 *2	091 HI16	091 HI16 *2	

134	133	132	131	130	129	128	127	126
□引カ 田小麻	雀アカ □	忍海マ	丈ア	□□丈アカ □□	□土カ 師	土師ア	田ア□	各田ア君
091 HI16	091 HI16 *2	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *1	091 HI16	091 HI16
143	142	141	140	139	138	137	136	135
使連□	□臣カ	ア君廣足	□宿カ 祢	大鳥	各田	□各田	犬上	□意富
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *2
151	150	149	148	147	146	145	144	
ア麻□ □	□ア妹麻呂	□□ア忍男 □□富	□□□ アカ麻呂	寸主	□連	□連□	ア連カ □	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *1	091 HI16	091 HI16	091 HI16	

160	乙万呂	091 HJ16
159	美万呂	091 HI16
158	□ア〔龍カ〕	091 HI16
157	ア〔古カ〕	091 HI16
156	アス	091 HI16
155	□□ア羊	091 HI16
154	□ア海人	091 HI16
153	□マ多我	091 HJ16
152	マ末□	091 HI16
169	黒□〔栖カ〕	091 HI16
168	粟虫	091 HI16
167	呂	091 HI16
166	□呂	091 HJ16
165	□麻呂	091 HI16
164	□呂〔万カ〕	091 HI16
163	□万呂	091 HJ16
162	□万呂	091 HJ16
161	□乙万	091 HJ16
178	阿□	091 HI16
177	神□	091 HI16
176	鳥□	091 HI16
175	□□部	091 HJ16
174	□□〔生カ〕	091 HI16
173	□石□	091 HI16
172	□小公□	091 HI16
171	上三田	091 HJ16
170	□手	091 HI16

186	□ 門 □	091 HI16	194	□ 五 □ 鍛 □	091 HI16	202	□ 出 □	091 HI16
185	□ 殿 □ 以 門 □ [力]	091 HI16	193	□ 塩 □ 縫 □ 殿 □ [力]	091 HI16	201	石 臣 □ 出 □ [力]	091 HI16
184	□ 三 □ 宮 □	091 HI16	192	□ 職 □ 遣 □ [力]	091 HI16	200	□ 給 □ 能 □ [力]	091 HI16
183	□ 宮 □ 葛 □ [力]	091 HI16	191	□ 仏 □ 大 膳 □	091 HI16 *1	199	□ 籠 □ 給 □	091 HI16
182	□ 親 王 □	091 HI16	190	□ 宮 □	091 HI16	198	□ 目 □ 六 □ [力]	091 HI16
181	□ 迹 □ [力]	091 HI16	189	□ 宮 □	091 HI16	197	□ 日 □ 辰 □ [力]	091 HI16
180	若	091 HI16	188	□ 宮 □ [力]	091 HI16	196	□ 内 □	091 HI16
179	□ 椅	091 HI16	187	□ 門 □ 部 □ [力]	091 HI16	195	□ 内 □ 目 □ [力]	091 HI16

211	210	209	208	207	206	205	204	203
〔籠方〕 物 賊	〔久力〕 麻油 寸	〔緩〕 山	石 受	〔進〕	出	出	出 □	□ 出
091 HI16	091 HI16	091 HI16 *1	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
219	218	217	216	215	214	213	212	
〔從〕 匹	位 御 升	〔鉄力〕	楮	糸	塩	〔鮫〕	〔籠力〕 横	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	
227	226	225	224	223	222	221	220	
千	〔又〕 万	〔人〕	端	斗	籠	籠	籠 〔郡力〕	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	

235	石	091 HI16	243	物	091 HI16	252	部	091 HI16
234	石	091 HI16	242	物	091 HI16	251	鳥	091 HI16
233	海石内	091 HI16	241	三了	091 HI16	250	鳥	091 HI16
232	三	091 HI16	240	海	091 HI16	249	秦	091 HI16
231	九	091 HI16	239	猪	091 HI16	248	尖	091 HI16
230	九	091 HI16	238	連	091 HI16	247	引	091 HI16
229	主	091 HI16	237	山	091 HI16	246	刑	091 HI16
228	佰	091 HI16	236	石	091 HI16	245	神	091 HI16
						244	物	091 HI16

261	260	259	258	257	256	255	254	253
□	□□	被	以□	□	佐	井	□	□□
□ _{〔力〕}	仕□			□□ _{〔以力〕}			池	濱□ _{〔野力〕}
091 HJ16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16

270	269	268	267	266	265	264	263	262
□ _{〔賜力〕}	賜□ _{〔賜力〕}	賜□ _{〔賜力〕}	□ _賜	□ _賜 □ _{〔賜力〕}	以々□是之之□□	大	大	□ _由
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16

※ 266
 ~ 270
 八同一簡力。

279	278	277	276	275	274	273	272	271
□ _{〔目力〕}	□□ _大	□ _{〔大〕} □ _{〔大〕} □ _{〔力〕}	大大	□ _{〔德〕} □ _{〔德〕}	木□ _{〔木力〕}	子□ _{〔子力〕}	子□ _{〔子力〕}	□ _{〔鳥力〕} 鳥
091 HJ16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HJ16	091 HI16	091 HJ16	091 HI16

289	288	287	286	285	284	283	282	281	280
下	□ 下	□ 上	少 □	□ 右	中	大	大 □	□ 大	□ 大
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
298	297	296	295	294	293	292	291	290	
□ _奈 □ _力	□ _家 □ _力	□ _等 □ _力	□ _皮	□ _皮 □	□ _田 □ _同 □	□ _高 □ _□ □	□ _内 □ _及	□ _矢 □ _二 □ _力	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	
307	306	305	304	303	302	301	300	299	
久 □	都 □	連 □	道	□ _道 □ _力	□ _墙 □ _力	□ _玉 □	□ _原 □	奈	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	

第一二八次調査(5A J G地区)

317	316	315	314	313	312	311	310	309	308		
間	良	物	□ _力 □ _国	真□	野□	□綏	□毛	□是	□之		
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16		
						321	320	319	318		
						營	也	現	使		
						091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16		
328	327	326	325	324	323	322					
□ _物 □ _不 □ _力	□ _{之多} □ _縫 □ _力	□大夫□	教留□□	□教留□□	□ _教 □ _都 □ _力	□符事	南北溝SD九八一五				
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70					

337	列 □	091 EF70	346	病	091 EF70	355	贊 □	091 EF70 *4
336	□ □ □ _{列力}	091 EF70	345	□ _足 病	091 EF70	354	函	091 EF70
335	□呂列	091 EF70	344	逋	091 EF70	353	出	091 EF70
334	□万呂列	091 EF70	343	「逋」□	091 EF70	352	□給□	091 EF70
333	了嶋	五十 _{上力} □ 091 EF70 *3	342	「逋」丸了臣	091 EF70 *3	351	二日	091 EF70
332	□ _{衛力}	091 EF70	341	火頭佰□	091 EF70 *4	350	□ _{月力} □□	091 EF70
331	大一 _{衛力} □	091 EF70	340	申日	091 EF70	349	□六月	091 EF70
330	衛士□	091 EF70 *4	339	□十一下□	091 EF70	348	年□	091 EG69
329	此 _{者力} □	091 EF70	338	十七日申二 □□□□	091 EF70	347	七夕四	091 EF70 *4

364	馬	091 EF70
363	馬	091 EE70
362	□ □ _塩 □ □ □	091 EF70
361	□ _塩 □	091 EE70
360	餅飯	091 EE70
359	□ _{二人} □ _□ □	091 EF70
358	四 _{〔升力〕} □ _{一人} □	091 EF70
357	□ _{〔瓜力〕} □	091 EE70
356	□ _{瓜十三}	091 EE70
373	五	091 EF70
372	五	091 EE70
371	□ _三	091 EF70
370	□ _五	091 EE70
369	九 _□ □	091 EE70
368	□ _十 □	091 EF70
367	廿五	091 EF70
366	廿七	091 EE70
365	五十	091 EF70
381	□ _{〔郡力大〕} □ _□ □	091 EF70
380	□ _{〔夜力〕} □ _郡	091 EF70
379	□ _郡 □ _{塩田里小長} □ _{〔谷力〕}	091 EF70
378	□ _{〔下野国塩屋郡〕} □ _{塩屋郡}	091 EF70 *4
377	支評 □	091 EF70
376	□ _{〔野力〕} □ _毛	091 EE70
375	上毛 _{〔野力〕} □ _{〔国〕}	091 EE70 374 下同一箇力。
374	六月廿 _{〔日力〕} □	091 EE70 375 下同一箇力。

415	414	413	412	411	410	409	408	407
大伴連	務	〔直力〕 □ 従五	里	里 □	里 □	里人 □	里五 □〔百力〕	〔里力〕 □ 君子了 □
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
423	422	421	420	419	418	417	416	
□ 山守アカ	□ 蝮カ	〔蝮王マ五力〕 □ □ □ □ □	□ 佐伯	□ 人	□ 大〔伴力〕	□ 大〔伴力〕	大伴マ古□	
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *4 佐伯直麻〔呂力〕	091 EF70	091 ED69	091 EF70 *4	
432	431	430	429	428	427	426	425	424
□ 直荒人	□ 直百嶋	〔連力〕 □ □	連麻〔呂力〕 □	〔連力〕 □ 国麻呂	□ 人マ連□	〔手嶋連力〕 □ □	姦臣□	□ □ 出雲臣古末
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *3

441 丈ア小□ 091 EF70

440 [丈カ] □ア古末呂 091 EF70

439 長谷ア□ □ 091 EF70

438 [雀カ] □ア□麻カ] 091 EF70

437 □□[神カ] □人□ 091 EF70

436 山代□ 091 EF70

435 原史 091 EF70

434 □史友足 □ 091 EF70

433 □□首□ □□ 091 EF70

449 [矢カ] □田マ字代 091 EF70

448 海ア 091 EF70

447 物ア□ 091 EF70

446 [財カ] □ア□ 091 EF70

445 財ア真□ 091 EF70 *4

444 □□各田ア小根 □□ 091 EF70 *4

443 綾マ□ 091 EF70

442 丈ア□ 091 EF70

457 万呂 091 EF70

456 鳥 091 EF70

455 鳥 091 EF70

454 [取カ] □ア□カ] □鳥[取カ] 091 EF70

453 □□ 鳥取猪弓 □□□□ 091 EF70

452 □□ □酒ア子万呂 □ 091 EF70 *4

451 日置ア□[創カ] □□ 091 EF70

450 矢田□□ [アカ] □□ 091 EF70

※454
~457
同一簡。

452
同一簡。

467	466	465	464	463	462	461	460	459	458
□ _日 □ _下 力	□ _日 □ _下 力	□□ _日 □ _下	各□ _田 力	葛木□	茨田	委□ _文 力	若湯坐	□取枝□	鳥取□
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
476	475	474	473	472	471	470	469	468	
□□支ア□	知ア	井ア□	□田ア	□ _田 □ _ア □ _其 □	□若田ア	□王ア古麻□ _呂 □ _古 力	□□大田ア□	□□□□	□□ _椅 力
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
484	483	482	481	480	479	478	477		
□□ア宮□	□□ _ア □ _飯 □ _日 力	ア _児 □ _龍 力	ア小野□□	宮神	□ _ア □ _粮 □ _麻	□□□□マ小舎人	□波マ□		
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 479ト同一簡。	091 EF70 480ト同一簡。	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70

494	□ 若万呂	091 EF70
493	□ 多加麻呂	091 EF70
492	□ ア	091 EF70
491	□ ア □	091 EF70
490	□ □ □ ア	091 EF70
489	マ得	091 EF70
488	□ ア〔真カ〕 □ □	091 EF70
487	□ ア果 □	091 EF70
486	□ ア身 □	091 EF70
485	□ マ足 □	091 EF70
504	□ □ □ 黒〔麻カ〕	091 EF70
503	廣人	091 EF70
502	宮手 □	091 EF70
501	□ 子首	091 EF70
500	□ 辛犬	091 EF70
499	□ 稻手 □	091 EF70
498	君万呂	091 EF70
497	□ 君万呂	091 EF70
496	□ 龍万〔呂カ〕 □ □	091 EF70
495	龍万呂	091 EF70
514	万呂	091 EF70
513	□ 万呂	091 EF70
512	□ 万呂	091 EF70
511	□ □ 万呂 □	091 EF70
510	□ 麻	091 EF70
509	□ 麻	091 EF70
508	□ 麻〔呂カ〕 □ □	091 EF70
507	□ 麻〔呂カ〕 □ □	091 EF70
506	□ 麻〔呂カ〕 □ □	091 EF70
505	麻呂	091 EF70

551	550	549	548	547	546	545	544	543
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〔賜賜力〕	<input type="checkbox"/> 賜	賜賜〔賜力〕 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 賜賜賜	<input type="checkbox"/> 織	肢 <input type="checkbox"/>	腰 <input type="checkbox"/>	肢	<input type="checkbox"/> 肢織肢織肢
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *3	091 EF70	091 EF70	091 EF70 ※543 545 八同一箇力。	091 EF70	091 EF70 *3
560	559	558	557	556	555	554	553	552
大大 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 大大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大大 〔天大大力〕	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 々々 〔之力〕	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 教教 〔教教力〕	<input type="checkbox"/> 語語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 月月月 〔月力〕	為為人 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 興興 〔興力〕
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
570	569	568	567	566	565	564	563	562
小 <input type="checkbox"/>	大	大	大 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	大人 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
561	562	563	564	565	566	567	568	569
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70

580	579	578	577	576	575	574	573	572	571
□古	□古□	□□古□	人□	人□	人□	□人	□人	□人	□人□□□
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
589	588	587	586	585	584	583	582	581	
毛□□	□〔果尔力〕 □ □	□□西□	□真〔佐力〕 □ □	□得西□	□□高	□嶋□□□	者月〔印力〕 □□□	古	
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
599	598	597	596	595	594	593	592	591	590
□〔道力〕	□道□	字□	□字□	□遲□	□知□	□備□	□山□	□吾□	若□□
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 ED70	091 EF70	091 EF70

608	607	606	605	604	603	602	601	600
天 □	下 □	婆 □	碁 □	文 □	奈	□奈 □佐 力	□日 朝力	□ □忍
091 EF70	091 EF70	091 EE70	091 EF70	091 EE70	091 EE70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
617	616	615	614	613	612	611	610	609
藉	被	依	弓	□師	□池	□真	□太	自 □
091 EF70	091 EE70	091 EE70	091 EE70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
					621	620	619	618
					□都 力	物	家	占
					091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十八)訂正 ※木簡番号は前号による。

第一二八次調査(5AJG地区)

南北溝SD九八一五

7 癸卯：月一日記出雲国：室原□

091 EF70 *3
 积文ノ訂正。

19

□「山下首得麻呂 忍海評」
 □置始連 安末呂

091 EF70 *3
 积文ノ訂正。
 399ト同一簡力。

27 阿刀里日下マ古万呂

091 EF70 *4
 积文ノ訂正。

47

丈ア□□四三枝ア□
 [炊カ] [大カ]

091 EF70 *4
 积文ノ訂正。
 452ト同一簡。

56

戊寅年高井五□□

170・20・4 032 EF70
 积文ノ訂正。

65

八九七十二
 九々八十

七九□
 (124)・31・7 019 EF70
 小地区ノ訂正。

72

□人丁□
 □丁□ [人カ]

(54)・(8)・2 081 EF70
 积文ノ訂正。

第一二九次調査(5AMD地区)

南北溝SD四〇九〇(堆積土)暗茶灰色粘土

114

(参河国碧海郡)
 ・加牟加皮手五升
 神久□□二升小麻田戸二升

鳥取□□二升桜井戸二升一升□
 青見□□二升知利布二升 汗久皮ツ二升

133

B期造成整地土

□□加田甚□
 091 Q181
 遺構等ノ訂正。

135

南北溝SD四二二一

建大□
 091 Q181
 积文ノ訂正。

136

□各□

091 Q181
 积文ノ訂正。

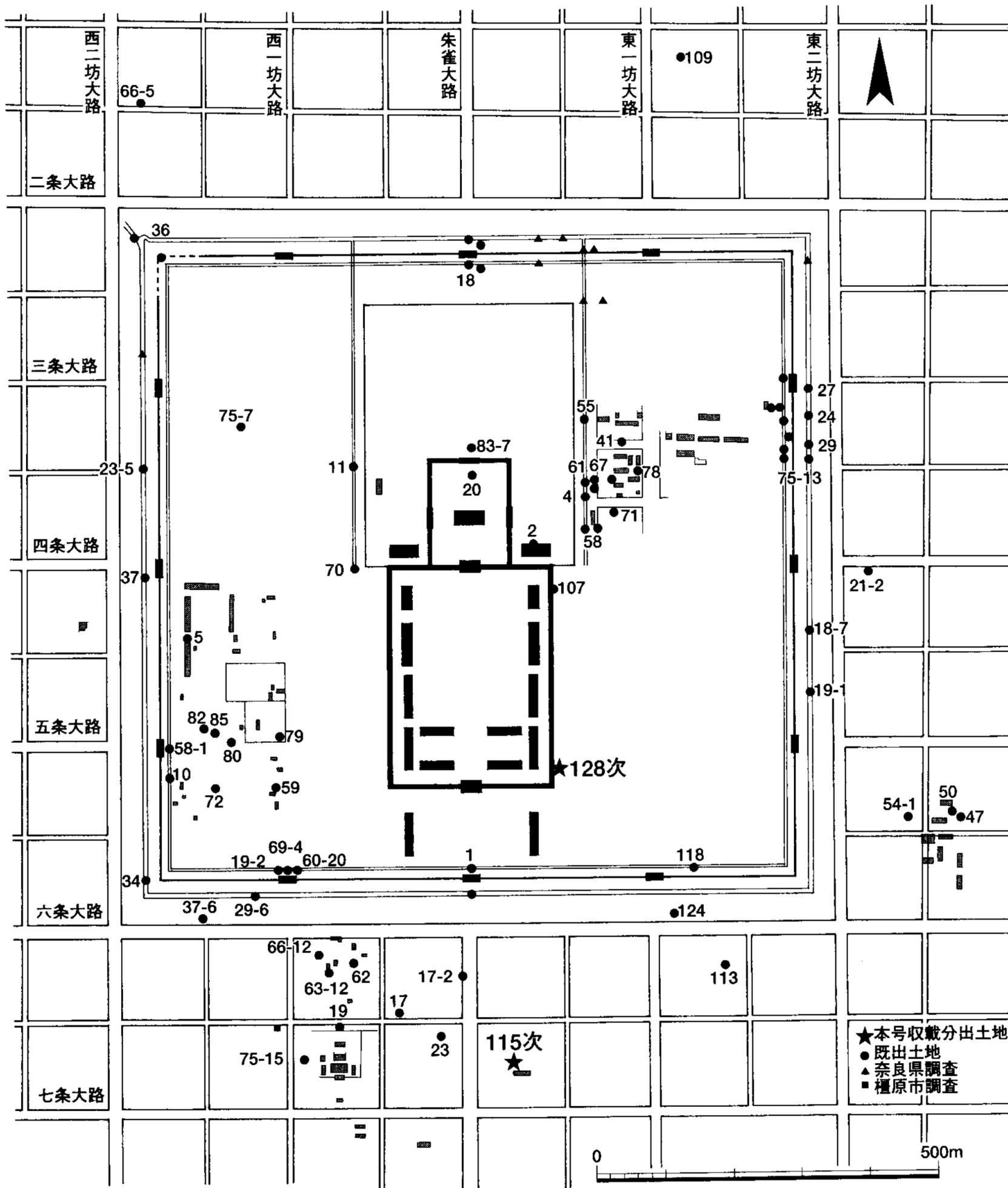
木屑層

141

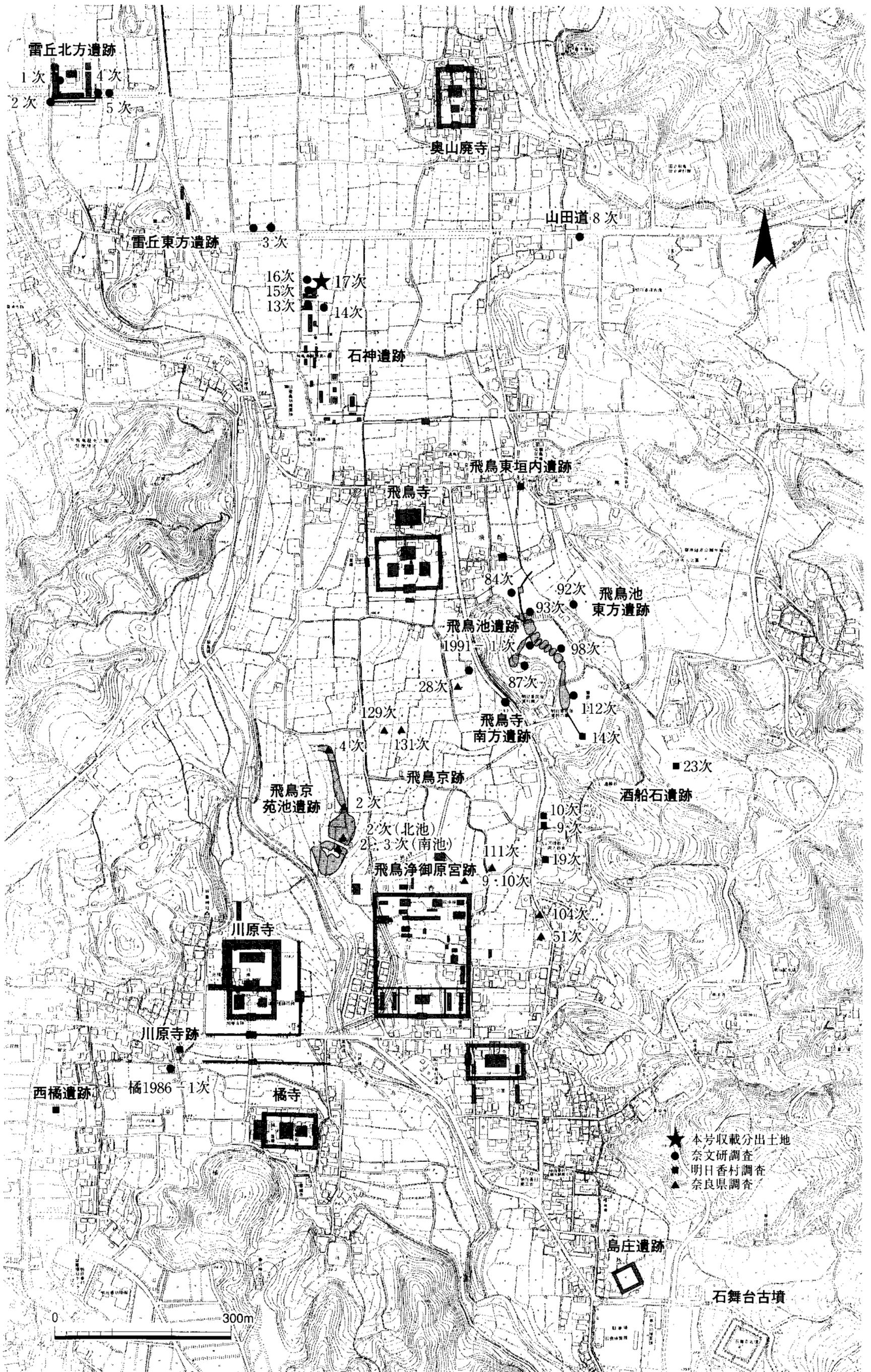
(美濃国可兒郡)
 己卯年十一月三野国加尔評

140・34・5 031 Q180
 型式番号ノ訂正。

296・57・5 051 Q181
 表裏関係ノ訂正。



藤原宮木簡出土地 1:10000



飛鳥地域木簡出土地 1:10000

二〇〇五年十一月二十四日 印刷
二〇〇五年十一月三十日 発行

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(五)

編集・発行

独立行政法人文化財研究所
奈良文化財研究所

〒六三〇―八五七七

奈良市二条町二丁目九―一

TEL 〇七四二(三四)三九三二

FAX 〇七四二(三〇)六八三〇